

先週のマーケット動向(11月10日~11月14日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,457.0	1,475.4	1,450.8	1,457.0	+0.1
JPY/KRW	9.4712	9.5294	9.4038	9.4258	▲0.067
KOSPI	3,991.87	4,188.54	3,984.24	4,011.57	+57.81

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇後、急落する激しい値動き。週初ドル/ウォンは1,457.0でオープン。米政府再開に向けた動きが伝わる中、センチメント改善を受けて一時1,450.8まで下落した。しかし、ウォン買は週初の限定的な動きに留まり、その後は政府再開を好感したドル買いが強まり、ウォン安推移が継続。米株式市場でのハイテク株への調整が続く中、韓国株式市場でも半導体関連銘柄が軟調推移し、海外投資家による資金流出が観測され、13日に一時1,475.4の高値をつけた。14日も同様に1,475ウォン付近までウォン安が進むと、韓国政府が国民年金と協調し為替安定に向けた対策を検討することが伝わり、為替介入への警戒から急速にウォン買いが進み、週初と同レベルまで下げる動きに。結局、ドル/ウォンは前週末比+0.1ウォンの1,457.0でクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

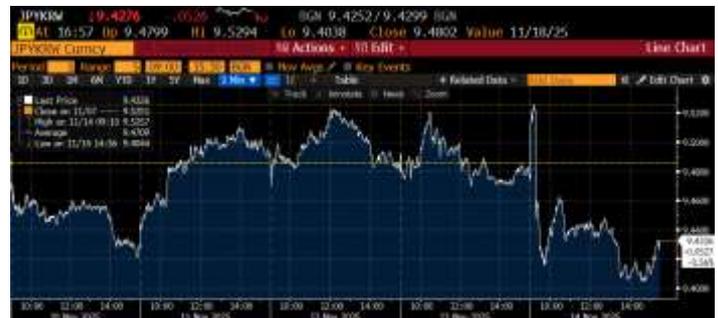
ドル/ウォンは底堅い推移が継続か。先週末韓国政府による為替介入の示唆が見られたことで1,470ウォン台付近が高値として意識される展開。一方で、米国の利下げ期待剥落に伴い、ドル高地合いは継続しよう。米政府閉鎖に伴い発表延期となっていた9月雇用統計は20日に発表される見通しとなり、経済指標結果にも注意したい。介入が意識されるも、トレンドが反転するまでの材料は見当たらず、ドル/ウォンは底堅い推移の継続をメインシナリオとする。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1440 ~ 1470	9.25 ~ 9.55	153.0 ~ 156.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 17日(月) 日 9月 鉱工業指数 確報値
米 11月 NY連銀製造業指数
日 3Q GDP 速報値
- 18日(火) 米 10月 鉱工業生産 確定値
- 19日(水) 米 10月 住宅着工件数 確定値
欧 10月 CPI 確報値
日 10月 貿易統計 確定値
日 9月 機械受注 速報値
米 FOMC議事録
- 20日(木) 米 11月 失業保険新規申請者数
米 9月 雇用統計
米 10月 中古住宅販売件数 確定値
- 21日(金) 米 11月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
欧 11月 製造業PMI 速報値
米 11月 製造業PMI 速報値
欧 11月 サービス業PMI 速報値
米 11月 サービス業PMI 速報値
欧 11月 消費者信頼感指数 速報値
日 10月 CPI 確定値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。